

イブニングセミナー7 【ES7】

日時：2026年4月11日(土) 17:40~18:40

会場：Room 5 411+412(福岡国際会議場)

世界で選ばれる
多焦点・トーリックIOL

- 臨床と光学技術の最前線 -



日時 2026 4.11 (土) 17:40-18:40

場所 福岡国際会議場
Room5(4F 411+412)

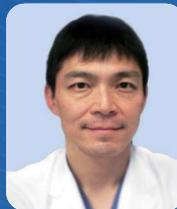
座長

佐々木 洋 先生
金沢医科大学テクノロジーが証明する
選ばれる理由

-ファインビジョンHPの光学設計と囊内安定性-

演者 渋谷 恵理 先生
金沢医科大学臨床成績が示す
選ばれる理由

-ファインビジョンHPによる良好な臨床成績と視機能-

演者 木村 格 先生
木村眼科内科病院形状が裏付ける
選ばれる理由

-ダブルCループ形状がもたらす回旋安定性-

演者 中野 伸一郎 先生
龍ヶ崎済生会病院

座長の言葉

近年、多焦点眼内レンズを用いた白内障手術において、軽度から中等度の角膜乱視矯正を目的としてトーリックレンズを選択する症例は著しく増加している。多焦点性能による裸眼視力の向上に加え、角膜乱視を適切に補正することが、術後視機能および患者満足度を左右する重要な要素となっている。多焦点眼内レンズとトーリック機能を高いレベルで両立させることは、現在の白内障・屈折矯正手術における重要な臨床課題の一つである。

このような背景のもと、欧州を中心に累計100万枚以上が使用されてきたFINEVISIONのダブルCループプラットフォームが、国際的に高い評価を受けている点は注目に値する。このたび、国内においてもファインビジョンHPトーリック(多焦点トーリック)は薬事承認を取得した。多焦点眼内レンズに不可欠なトーリックの追加により、ファインビジョンHPは適応範囲を大きく広げ、より多くの患者に対して使用可能な選択肢を提供できるようになる。

本セミナーでは、「世界で選ばれる多焦点・トーリックIOL」をテーマに、光学技術、臨床成績、プラットフォーム設計という三つの視点から、その本質に迫る。渋谷先生には、ファインビジョンHPの独自の回折構造から得られる良好な近方視、不快光視現象の抑制、囊内安定性についてご講演いただく。木村先生には、ファインビジョンHPの臨床データを基に、視機能評価および術後成績についてご報告いただく。中野先生には、ダブルCループ形状に着目し、トーリックIOLに求められる回旋安定性とその臨床的意義について解説いただく。

本セッションが、多焦点・トーリックIOLに対する理解を深め、日常診療における新たなレンズ選択の可能性を考える一助となることを期待する。

